

令和三年度 お茶の水女子大学 文教育学部
学校推薦型選抜 帰国子女・外国学校出身者特別選抜
高大連携特別選抜 試験問題 人文科学科

※哲学・倫理学・美術史プログラムを志望する者は、【問題1】を、
比較歴史学プログラムを志望する者は、【問題2】を、
地理環境学プログラムを志望する者は、【問題3】を、
それぞれ解答しなさい。

令和二年度 お茶の水女子大学

学校推薦型選抜 帰国子女・外国学校出身者特別選抜 高大連携特別選抜 試験問題

文教育学部 人文科学科（哲学・倫理学・美術史）小論文

【問題1】 次の文章を読んで問一、問二に答えなさい。

竹内靖雄は、『日本人の行動文法』（東洋経済新報社）において「思いやり」を「相手の立場、感情を想像して攻撃抑制的な態度をとる」と記述したうえで、これはエゴイズムの変形であると断じている（以後、竹内に言及した引用はすべて本書からのものである）。

思いやりは「自分本位」から出ってきたソシオグラマーである。「自分が他人からいやなことをされたくないから、他人にもそのいやがることをしない」のであって、思いやりは自己利益の追求という原則に矛盾しないどころか、利己主義の変形なのである。すべては「自分の利益本位」という原則から説明できる」とあって、日本人の思いやりは無条件に他人を尊重することとは違う。

現代日本人は「思いやり」という言葉がじつに好きだ。竹内が指摘しているとく、「この国では「思いやり」は——純粹に働く場合もあるのだが——ほとんどの場合「利己主義の変形」として機能してしまう。竹内の言葉をやや敷衍する必要がある。何よりもこれは、もう一つの美德であるところの「勇気」と合致しないことを指摘する必要がある。勇気のない人も容易に実行できるような「思いやり」が、われわれにとっての「思いやり」なのである。

電車内で老人に席を譲ることや視覚障がい者を誘導することは「思いやり」であろう。こうした行為は、社会的に公認された「よい」とあるから実行するのにそれほどの勇気は必要ではない。正面からの反対に遭う」ともまたなく、せいぜい断られたら恥ずかしい、よいことをしていることが田立つきまり悪い程度くらいである。しかし、無条件の「思いやり」には勇気が伴う。

相手の立場に立つて「よかれ」と思つてなしたことが、逆に相手に憎まれるかもしれない。相手に害悪をもたらすかもしれない。何をしても、最終的には「読めない」のが人間関係というものである。純粹な思いやりとは、こうした場合をも見越してある行為をすること、そして結果に対してもキチンと責任をとることである。

言いかえれば「思いやり」の押しつけをしないこと、「喜んでもらう」という報酬を求めないことである。こう言つてしまえば簡単であるが、これが傷つきやすい人々の蔓延するこの国ではなかなか難しい。

老人に席を譲るうとしたところ、「老人あつかいして失礼な！」と非難されても、荷物を持ってやろうとして泥棒

にまちがえられても、しょげないこと、過度に傷つかないことである。むやみに謝る必要はない。シッカリと自分の意思を伝えて、誤解を指摘すること。そして、それに懲りずにまた席を譲り、荷物を運んでやろうとしている。

だが、竹内が「利己主義の変形」と呼ぶ「思いやり」は、こうした事態に遭遇すると、思わずわが身を守つてしまふ。「思いやり」を素直に受け止めない相手を憎み、以後席を譲ること、荷物を運ぶことを躊躇してしまう。こんな馬鹿げた損をしてまで思いやることはない。自分の身を守ることが第一であり、相手の苦痛を和らげるとは第二だからである。自分が傷つかないかぎりで相手を思いやるからである。つまり、こうした「思いやり」は純粋ではない。無条件ではない。利己主義の変形である。

だが、さらに難しい「思いやり」の実行がある。それは、勇気のいる行為であり、例えば、ヨボヨボのお婆さんが立っているまん前に大男が大股広げて座っているときに、その男に向かつて「立ちなさい」と言い、お婆さんに「いいに座りなさい」と言う行為である。つまり、殴られることを覚悟の「思いやり」であり、刺される危険のある「思いやり」である。

わが国の思いやり論者がここまで要求するのなら、私は大賛成である。しかし、たいていはそうではないのだ。自分の身に危険がふりかかる範囲での「思いやり」など、気楽な「思いやり」であり、そんなものはじつは「利己主義の変形」だとハッキリ教えるほうが、そしてそう承知したうえで「思いやり」を実行するほうが誠実であろう。

出典：中島義道『〈対話〉のない社会 思いやりと優しさが圧殺するもの』PHP新書、一九九七年（一部改変）。

問一 傍線部について、どういふことが、本文に即して100字以内で説明しなさい。

問二 著者は思いやりについてどう考えているか。またあなた自身は思いやりについてどう考えるか。合わせて六〇〇字内で述べなさい。

令和三年度 お茶の水女子大学

学校推薦型選抜 帰国子女・外国学校出身者特別選抜 高大連携特別選抜

試験問題 文教育学部 人文科学科（比較歴史学）小論文

【問題2】次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

歴史家は、史料を読み追体験し、因果関係を推理し叙述する。読者は、それを読み追体験し、歴史を理解する。そのさい歴史家と読者がたよりとするのは、彼らの知識や経験の総体である。つまり世の常識である。史料と歴史家と読者の間に共通する常識があると思うから、それによって表現と理解が可能となり、追体験も説得や納得も、さらに反論や批判もできる。史料と歴史家と読者を包む世の常識があるからこそ、歴史も歴史家も読者も存在しうるのである。

人々が知識や経験を共有する社会では慣習や習俗が形成され、人々の思考・感情・行動に一定の類型性や規則性が生まれ、それによつて社会が安定し維持される。ことわざや処世訓は、そのような常識の結晶の一部である。日記や手紙も常識で書かれ、追体験も常識によつて行われる。日常の社会生活が、常識によつて安定し持続しうるばかりでなく、過去の行為や出来事もこれによつて説明され納得され、将来起らるべきことの予測や計画構想もこれによつて可能となる。ところが、忘れてはならないことは、常識の中に含まれる規則（慣習や習俗）は、自然科学にみられるような仮説と検証によつて確立される普遍的一般的な規則（自然法則）とはまったく類を異にしている。常識の中の規則は、各自（歴史家も読者も）がその知識や経験から抽出した規則であつて、共有する知識の量も質も同じでない。そこから各自が抽出する常識は、それぞれ主観的個性的であり、相互に類似することもあるが、相違することもある。そればかりか、生まれや育ちがちがえば、常識が食い違うであろう。年齢や職業によつても変化するだろう。また、異なる社会では常識が違うのは当然であろう。

このように常識は、人々の心中でも人々の間でも矛盾撞着する。てんでばらばらの主観的個性的規則の総体が常識である。相反的で不整合な規則が競合したり癒着したりしている。だから、常識がなにほどか堅固で安定した根拠をもつと思うのは、自己欺瞞的な幻想にすぎない。常識の中で流通する感動や印象が的確に表現され伝達され理解されることは信じがたい。その過程で誤解や歪曲が生じないはずはないのである。さらに立ちかえつて考えれば、そもそもこのように無茶苦茶な常識の中で生きる人々がつくり出す社会や歴史がカオスでないとすれば不思議である。そのカオスになにか調和や秩序があると思うのは、根拠のない思い込みにすぎない。そのカオスをあえて整合的体系的に説明しようとするのは、かえつて歴史を損傷し歪曲することにならう。こう考えれば、歴史研究は、はじめから根拠がなく不可能である。これは驚くべきことであるが、それ以上に驚くべきは、それにもかかわらず歴史家が平然として歴史を書き、読者も平然としてこれを読んで疑わない事実である。

しかし、ここで破滅的絶望的議論はやめとしたい。平然として書きかつ読むかぎり、歴史は存立しうるのである。歴史家は、常識にしたがつて行為や出来事の多元的複合的因果過程の中から最も関心のある数少ない因果過程を選択抽出し、それを軸として因果過程を単純化する。歴史は、単純化した筋書に沿つて叙述される。いかに選択的単純化を行い、簡潔に叙述するかは、歴史家の資質であり、彼の腕のみせどころである。しかし必要な重要な部分が脱落するかもしれない。あるいは書くうちに彼の関心が増殖・移動することもある。そのとき彼は、常識にしたがつて他の因果過程を取り上げて脱落を補充する。あるいは因果過程を差し

替える。補充や差し替えや組み替えによつて斬新な筋書や叙述が光彩を放つかもしれない。常識的推理は、つねに凡庸で陳腐とはかぎらない。用法によつては非凡な効果をあげる。大歴史家は、凡庸な推理を非凡に用いることを知つていた。

要するに、歴史家は、選択的多元的複合的因果過程として事件を叙述する。どの因果過程をとりあげ組み合わせるべきかはあらかじめきまつていない。それは、歴史家の関心や目的できる。また、因果過程について確立した因果規則はないばかりか、いくつもの因果過程が競合し干渉しあつて見分けがたい。そのようなかで歴史家は仕事をする。日記や書簡を彼の常識で追体験する。事件や行為の因果過程は彼の常識で推理する。しかし、それが事実であつたかどうか確実ではない。そして叙述された歴史が読者の常識を納得させるかどうかは、これまた確実ではないのである。（中略）

比較は、日常の冗談や皮肉の中で頻繁に活躍する。会話や文章に活気や説得力を与える。比較はまた、作戦戦略や利害得失の判断の根拠になる。さらに、知見や研究の開拓のために不可欠の方法である。ある事象に関心をもつた研究者がそれと類似した（また相違した）他の事象に関心をもつのは、好奇心と想像力の自然の作動であろう。（中略）ドイツ君主制に対する関心は、当然フランス・イギリスの動向に対する関心を誘発し、フランスの集権化・平等化についての関心は、フランスとイギリスの貴族制度や土地制度に関する鋭い比較的考察を生み出した。またイギリス議会政治の包括的考察は、フランス議会政治の可能性についての辛辣な批判と組み合わされていた。いずれも彼らの関心は、自国を中心として隣国との比較に拡がつていったのである。また、西欧社会主義とデモス*は、比較の対象を移動し拡大しながら研究される。

すべての研究者は、意識するとしないにかかわらず、比較を行つてゐる。比較によつて推理を展開する。それを敢えて定義すると、次のようになるであろう。複数の事物の差異と類似を識別し整理することによつて、それぞれの事物の個性を明確にするのが比較である。何と何を比較するかは、研究者の関心と必要によつてきまる。関心と必要があれば、何と何が選ばれてもよい。要は、その比較によつて相互の類似や相違が鮮明となり、新しい知見がえられればよい。ただし重要なのは、比較は、研究者が関心をもち必要とする視角からなされることである。同じ視角から複数の事象が観察され比較される。したがつて研究者の関心と必要によつて、時間的・空間的に著しく隔たつた事象が比較される。また比較の射程は、無限に拡大し、専門領域を越えて行く。研究者にとつて冒険であるが、新しい研究がそこから胎動し、新しい分野が開拓されかもしけれない。

* デモス……民衆。

出典：升味準之輔『なぜ歴史が書けるか』（千倉書房、二〇〇八年）。

引用にあたり、省略・改変したところがある。

問一 傍線部「彼の常識」「読者の常識」とあるが、ここでいう「常識」とはどのようなものか。
筆者の見解に即して、100字以内で述べよ。

問二 答者は歴史研究に新しい知見を生み出すことのできる方法として「比較」を挙げている。

あなた自身が「比較」を用いて歴史を研究するとしたら、どのようなことが考えられるか。あなた自身の「視角」を明示し、その「視角」に見合つう比較の具体例をあげながら、六〇〇字以内で述べよ。なお、比較する国、地域、時代は限定しない（日本が含まれていなくてもよい。また、政治にかぎらず、自由に具体例をあげてよい）。

令和三年度 お茶の水女子大学

学校推薦型選抜 帰国子女・外国学校出身者特別選抜 高大連携特別選抜 試験問題

文教育学部 人文科学科(地理環境学) 小論文

【問題3】以下の文章を読んで、以下の問い合わせに答えなさい。

コロナ対策の専門家会議では、感染者数がマイナスに転じるためには個人個人の接触が8割減らなければいけないという前提を置いています。これは疫学的観点で組み立てた数理モデルで感染拡大を抑えるために必要な数値目標なのですが、その達成のためにはかなりの数の職場がリモートワークに踏み切らなければなりません。

最初にそのことが政府から発表されると、さっそく与党の大物政治家が「そんなことできるわけがない」と発言し、官邸では「出社を7割減らす」と実質的に目標が1割下方修正されました。

この要請の翌週4月13日から17日の昼間に首都圏と関西圏のオフィス街の人出が2月前半と比較してどれくらい減ったのか、NTTドコモがデータを発表しました。この数字が非常に面白いのですが、東京では銀座が68%減少、丸の内が68%減少、大手町が65%減少という惜しい数字で、これを受けて朝日新聞は「オフィス街の人出、5～6割減 政府の目標に届かず」と報道しています。

どこが「非常に面白い」のかを解説しますと、ニュースで報道されている緊急事態宣言後の朝の混雑する出勤ラッシュの映像と正反対のデータだからです。

この数字に関連してグーグルがGPSデータを使つた統計を公表しています。コロナ以前の1月上旬から2月上旬の5週間の中央値を基準に、「現在、どれくらい人の移動が減っているか?」を示すデータです。4月11日の統計データを見ると、アメリカでは職場への移動が徹底して抑制された結果、アメリカ全土では38%減少、ニューヨーク市中心部ではマンハッタン地区が55%減少、ブロンクス地区が52%減少、クイーンズ地区は62%も人の職場への移動が減少しています。

同じグーグルのデータで日本の状況を見ると、緊急事態宣言発令後の4月11日の時点で日本全体での職場への移動は22%減少にすぎません。大阪は28%減少、愛知は20%減少、首都圏では神奈川県は30%減少、埼玉県・千葉県はともに26%減少、東京はかなり優秀ですがそれでも37%減少にとどまっています。

このデータの違いは、世界中の政府がコントロールできないグーグルだから客観的なのだとは言えそうです。ドコモの公表データとの差がどこで生まれたのかを考察すると、グーグルはオフィスへの人の移動を分析したデータですが、ドコモのデータはオフィス街へ

の人の移動を分析したデータだという違いのようです。

丸の内を例にとれば、ドコモのデータでは500m四方の平日14時台の人数を比較したそうですが、そうなると東京駅がその範囲に入つてくる。銀座でも商業地域が計測範囲に入つてきます。

グーグルのデータを見ると、日本でも駅や繁華街では人の数は明確に減っています。東京ではターミナル駅の人出は59%減、繁華街の人出は52%減なので、その効果がドコモのデータではオフィス街の人出として上乗せされているのだと思います。私はデータ分析の専門家なので、こういったところはどうしても気になってしまいます。

そして感染拡大を防ぐために本当に必要なデータは、オフィスへの出勤がどれだけ減っているかのほうの数字です。なぜなら最大の「密」は職場や通勤電車にあるからです。

これが論点で、日本では法律上の強制力がないことを根拠に、人の移動は止められていません。社会人の過半数は、緊急事態宣言以降も平日に何らかの形で公共交通機関を使って出勤を繰り返しているのです。

もつともテレワークの要請は日々繰り返されていますので、GW前までは東京での職場への人の移動は5割前後までは減ると私も予測しています。しかし5割まで頑張つてもそれは目標数字には届いていない。

確かに新宿歌舞伎町の繁華街では警官が練り歩いて不要不急の外出を減らすように圧力をかけていますが、4月19日の週末は吉祥寺が外出する若者でにぎわった様子がニュース番組で報道されています。

週末になると世田谷区の駒沢公園は、気分転換に外出する人やジョギングで体を動かす人たちが例年以上に増加している状況です。結局一番感染が広がっている東京でも、その程度の自粛状況にとどまっているという現実があります。そして東京の感染がGWに日本各地に拡大することが危惧されます。

つまりただあてずっぽうで5月6日での緊急事態宣言の解除は無理だと予測するのではなく、データを見てもその目標達成は難しいだろうと根拠をもつて予言するのです。

(追記・4月26日に発表されたグーグルのレポートでは、日本全体の仕事場への人の移動はマイナス27%まで減つきました。東京はマイナス39%減でした)

出典・鈴木貴博「日本経済予言の書」PHP新書、二〇二〇年。

問一 傍線部で述べられている「必要なデータ」とは、具体的にどういったデータがあれば良いか。

本文を参考にしながら、100字以内で述べなさい。

問二 新型コロナウイルスの感染拡大に対し、地理学で分析・考察できるテーマにはどのようなものがあるとあなたは考えるか、本文も参考にしながら、六〇〇字以内で自由に述べなさい。

令和二年度 お茶の水女子大学 文教育学部

学校推薦型選抜 高大連携特別選抜 試験問題

言語文化学科(日本語・日本文学プログラム)

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

当たり前の話だが、「アートに政治を持ち込むな」も「アートは政治的でなければならない」もおかしな言い草である。方向は正反対だが、どちらも「アート」と「政治」の関係性を自分勝手に解釈しており、両者の定義も甚だ曖昧である。より精確かつ穩当に述べるなら、あらゆるアートは政治と関係を持っているし、それはアーティスト自身の意志であろうがなかろうが結局のところ不可避である、といつたことになるだろうか。

「政治的なアーティスト」という言い方は普通にある。それは、自らの政治的主張を開陳し伝達するためにのみアートを用いる者、という意味ではないだろう。だが他の誰とも同じようにアーティストだってしかじかの「政治的信条」を抱いていることはあるわけで、だとすれば表現や作品にそのようなものが入り込むことだってあるだろうし、そうしていい。そのとき、アートと政治のどちらが上位に来るのかを考え始めると罷に嵌まる。わな だがむしろ「政治」を露骨に押し出したほうが「アート」として高く評価されるという風潮もあつたりするので、傍観していくとなかなか厄介だと思うのである。

小泉明郎はまちがいなく「政治的なアーティスト」のひとりと言つてよいだろう。だが彼の作風は必ずしも单一で明解な「政治的信条＝主張」には還元されない。近年、小泉が矢継ぎ早に発表している映像を用いた作品群は、私にとっては「アート」が「政治」を扱う際のもつとも望ましい見本というべき力作ばかりである。小泉の一作目のVR作品『縛られたプロメテウス』は、その最新の達成である。

『縛られたプロメテウス』は「体験型演劇」として提示される。一時間の上演は前半と後半に分かれおり、VRが使用されるのは前半のみである。観客がVRゴーグルを装着すると、変調された男の声が聞こえてくる。幼少時の幸福な想い出から「彼」の話は始まるが、やがてそれは悲痛さを帯びてゆく。「彼」は身体が次第に動かなくなつたと語る。VRを通した視界では光が乱舞している。「彼」の声は悲愴感さうかん を強めていき、遂に頂点を迎える。機械と一体化

する」ことによってからうじて生きている自分への絶望感が無機質な声に滲んでいく。

そこで前半の終了を告げられ、VRゴーグルを脱いだ観客は別室に移る。暗い空間に長いべンチと大小のモニターが並べられている。着席しヘッドホンを装着する。壁に向こうから次の回の観客へのスタッフの説明、先ほど自分が聞いたばかりの説明が漏れ聞こえてくる。つまり三十分の前半後半を互い違いにして公演は行われているのだ。モニターに映像が映る。電動椅子に座った男性の姿がある。一日で「彼」が身体の動きに障害があることがわかる。そして「彼」は喋り始める。それは前半で聞いたのと同じ内容だ。先ほどの声も同時に聞こえており、「彼」の声が変調されて壁に向こうに流れているのだとわかる。あれは「彼」が語っていたのだ。

突然、モニター上部の壁が水平に開き、向こう側が見える。そこでは次の回の観客がVRゴーグルを付けていらっしゃる。「彼」が語る内容と人々の動きが一致していることに観客は気づく。だがそれは二十分前の自分の姿でもある。映像は椅子に繋がれた「彼」を映し続けている。「彼」は表情を変えることなく口だけで話している。やがて上演は終わる。

終演後に配布されたハンドアウトを読んではじめてわかったことにだが、「」の作品の出演者である「彼」の名前は武藤将胤、1991年にALS（筋萎縮性側索硬化症）を発症し、以後はALS患者の課題解決や社会参加にかかる様々な事業の研究開発を行っているという。『縛られたプロメテウス』は、後半になってからその作品としての核心が露わにされるようになつており、公演情報には武藤の出演も含め何ひとつ触れられていない。それだけに事前知識なしで体験した私を含む観客の驚きは大きかった。アイスクロスのギリシャ悲劇『縛られたプロメテウス』は、ゼウスから火（＝テクノロジー）を盗み人間に与えた罪によつて永遠の受刑を強いられるプロメテウスの物語だが、小泉はそれを元に、おそろづき「演劇＝アート作品」を造り上げた。

『Sacrifice』は、VRゴーグルによって観客が家族を殺されたイラク青年（の視線）に同定されぬままのだった。同じくVRを用いたがらも『縛られたプロメテウス』は、そのような作りにはない。観客はALSの患者である武藤将胤の身体を仮想体験するわけではない。『Sacrifice』も想体験の不可能を提示する作品だったのだが、『縛られたプロメテウス』は「体験」と「観察」が分離された上で重ね合われる「」、「」の「不可能」を「体験」する「」が実は不可能なのだと「」、「」もしくは「」を欺瞞があるので、「」を「」を、おれおれと突きつける。

私は、いついう試みにも真に「政治的」だと思つのである。

(佐々木敦『小さな演劇の大きさについて』より)

問一 傍線部「いついう試みこそ真に「政治的」だと思つ」とあるが、どのよつたな点が「政治的」だと思われるのか、答えなさい。

問一 日本文学において「政治的」であるとあなたが思う作品を複数挙げ、そつ思う理由を四〇〇字程度で論じなさい。

(問題以上。答案用紙のみ提出のこと)

前ページの日本語・日本文学プログラム試験問題における引用文献の出典の版元は、『株式会社Pヴァイン』になります。

令和3年度 お茶の水女子大学 文教育学部
学校推薦型選抜 帰国子女・外国学校出身者特別選抜 高大連携特別選抜 試験問題
言語文化学科(英語圏言語文化プログラム)

次の設問に英語で答えなさい。答えは答案用紙に記入しなさい。

Imagine you have to give up one of the following: television, smart phone, or computer. Which one would you give up and why?

令和3年度 お茶の水女子大学 文教育学部

学校推薦型選抜 帰国子女・外国学校出身者特別選抜 高大連携特別選抜 試験問題

言語文化学科(仏語圏言語文化プログラム)

次の文章を読み、問い合わせに答えてください。

「記憶」というものについて、わたしはかつて、その不可思議さの一端に触れる、次のような経験をしたことがある。あるとき、街のスーパーマーケットで偶然、洋梨のジュースが並んでいるのを見つけたわたしは、懐かしさに思わずそのひとつを手にとった。昔、15年近くも前になるが、学生だったわたしはアラビア語を勉強するため、エジプトのカイロに一年ほど留学した。そのとき、カイロでの生活の最初の3ヶ月、下宿させてもらっていたユーゴスラヴィア人のマリアおばさんの家で、昼食のあと幾度か、デザートに洋梨が出されたことがあったのだった。

「洋梨形の」という形容詞はそれまでも知っていたが、洋梨なるものを目にしたのは、そのときが生まれて初めてのことである。本当に洋梨形をしているんだと妙な感心をしたものだった。洋梨は果肉のきめが細かく、触感はどちらかというと日本の梨よりも林檎の感じに近かったが、水分をたっぷりと含んだその果肉は林檎よりもずっと軟らかで、独特の甘酸っぱい香りがした。

ところで、洋梨はアラビア語でなんと言つただろう？ ジュースの箱に描かれた洋梨の絵を見つめながら、わたしは一所懸命、アラビア語の名前を思い出そうと努めた。マリアおばさんは機嫌がよいと、食事を出すとき、大きな声で食べ物の名をアラビア語で叫ぶのが習わしだった。ちょうどイギリスのお屋敷で執事が、パーティーにやつてきたお客様の名前を大きな声で家中に告げるみたいに。「イナブ！（葡萄）」「ロンマン！（柘榴）」「バッティーフ！（西瓜）」……アラビア語を学んでいる留学生にひとつでも単語を覚えさせてやろうという親心も、もしかしたらあったのかもしれない。洋梨もまた供されるにあたっては、このマリアおばさんの紹介の儀式があったはずだ。

わたしはジュースの箱を手に、しばらくその場に佇んで、必死になって記憶の底を探ったが、洋梨を意味するアラビア語の単語の痕跡さえも浮かんではこなかった。それも、考えてみれば無理からぬことかもしれなかった。というのも、わたしが洋梨なるものを食べたのは結局のところ、15年前にエジプトのマリアおばさんの下宿で出された、あの、たったの数回に過ぎないのだから。秋になって下宿を出てからは、洋梨を自分で買って食べることもなかつた。洋梨の季節がすでに終わってしまっていたせいかもしれない。いずれにせよ、エジプトで洋梨という言葉をアラビア語で自分で実際に使う機会はなかつたということだ。そして、1年後に日本に戻つてからは、その日、

十数年ぶりにスーパーで再会するまで、洋梨にお目にかかることもなかったのだ。忘れた、というよりも、きっと、そもそも覚えていなかったのだ。わたしは名前を思い出すのを諦め、そのジュースを買った。

夜、冷蔵庫で冷やしたジュースを飲んだ。ほんの一口、口に含んだその瞬間のことだ。15年前、エジプトで食べたのと同じ、あの甘酸っぱい洋梨の香りが口腔と鼻腔をいっぱいに満たしたそのとき、その甘い果汁に浸潤された口腔内の細胞の奥深くから、マリアおばさんの「コメートラー（洋梨）」という言葉が突然、亡靈のように現れ出たのだった。昔、ほんの数回、耳にしたことがあるだけの単語が、15年間、からだのなかで消え去ることなく眠っていたということに、わたしは衝撃を受けた。眠っていた記憶が、まるで砂漠の地中に眠るひからびた種子が春の雨を受けて突然、いっせいに芽吹くように、洋梨の香りに触れて目覚めたのだ。

それだけでもじゅうぶん、大きな驚きであったけれど、わたしの驚きはそれにとどまらなかった。

コメートラーという言葉がからだの奥深くから湧きあがったまさにその瞬間、15年前のカイロの光景が生き生きと、あのときのままに甦ったのだ——埃と真夏の容赦ない陽射しに照らされたタハリール広場、錯綜する自動車のクラクション、人々の叫び声、香辛料のまじりあった独特な匂い、フランス風の重厚な石造りの建物のなかの、すべやかな壁のひんやりとした冷たさ、古風なエレベーターの重たい金属製の扉の鍔の匂い、マリアおばさんの下宿、テーブルカバーの刺繡や房飾り……。そして、念願の留学が叶い、一昼夜の旅の末にようやく、ひとりカイロに到着したあの頃のわたしの、期待に高揚する気持ちと不安がない交ぜになったセンセーショナルな気持ち——かつて自分がそんな気持ちを抱いていた、などということすら久しく忘れていたその気持ち——が、わたしの心を悩ましく搔き立てた。わたしは鳥肌が立った。プルーストが『失われた時を求めて』で描いた、あの有名な紅茶を浸したマドレーヌさながらに、洋梨の甘酸っぱい香りが触媒となって、15年前の7月、カイロでわたしが見、聴き、嗅ぎ、触れ、感じたこと、そのすべてが、まるでおもちゃ箱をひっくり返したかのように、いちどきに現在形で溢れ出たのだった。

それは、本当に不思議な経験だった。現実には、一秒にも満たないほんの一瞬の出来事のはずなのに、回帰してきた記憶には、時間的な厚みがあり、複数のイメージ——異なった時間、異なった場所の出来事——が同時に生起していた。それらの出来事は、わたしのなかで起きているはずなのに、わたし自身の感覚としては、わたしがかつて、それを体験したときのように、わたしがその出来事のなかにいる感じがした。そして、そのときわたしにはたしかに、カイロの街の喧噪が聴こえ、陽に焼かれた埃

っぽい大気の匂いを感じ、石の冷ややかさを感じたのだった。唯脳論者であれば、脳の記憶回路の一時的混乱と説明するだろう。フランスの文豪であれば、そこから長大な物語を紡ぎ出すかもしれない。

プルーストには較べるべくもないが、わたしは、わたしのこのささやかな「マドレーヌ体験」から——もっともわたしの場合は「洋梨体験」だが——記憶というものについて、あることを知った。それは、人がなにごとかを「思い出す」と言うとき、「人が」思い出すのではない、記憶の方が人に到来するのだ、ということである。

わたしがなにごとかを思い出すとき、叙述の上ではたしかに「私が」思い出すのであり、「私が」主体として、思い出されるべきことがらに対して「思い出す」という能動的作用を及ぼしているように表現される。過去の出来事がどこかに記録され保管されており、私たちは必要に応じて適宜、それらを取り出してきては、録画されたヴィデオテープを再生するように、参照するというイメージに近い。

しかし、この「マドレーヌ体験」が示唆しているのは、「記憶」というものの別ようのあり方である。記憶が——あるいは記憶に媒介された出来事が——「私」の意思とは無関係に、わたしにやって来る。ここでは、「記憶」こそが主体である。そして、「記憶」のこの突然の到来に対して、「私」は徹底的に無力であり、受動的である。言いかえれば、「記憶」とは時に、わたしには制御不能な、わたしの意思とは無関係に、わたしの身に襲いかかってくるものもあるということだ。そして、出来事は記憶のなかでいまも、生々しい現在を生きている。とすれば記憶の回帰とは、根源的な暴力性を秘めているということになる。

(岡真理『記憶／物語』より)

【問い合わせ】

文章の内容を踏まえた上で、人が何かを「思い出す」ときの能動的あり方と受動的あり方の違いについて、具体例を挙げつつ1000字以内で論じなさい。

令和3年度 お茶の水女子大学 文教育学部
学校推薦型選抜 帰国子女・外国学校出身者特別選抜 高大連携特別選抜 試験問題
人間社会科学科(教育科学プログラム)

〈注意事項〉

- 1 監督者の指示があるまで、解答を開始しないこと。
- 2 試験問題は、この表紙を含めて 3 ページあります。
- 3 答案用紙は、1 枚あります。
4. 試験問題および下書き用紙は、持ち帰ること。

Global competence に関する以下の英文を読み、設問に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

Emma Williams (2019) *Reorienting Cosmo-Global Education : The OECD, Derrida, and the Hospitality of Thinking* より。(一部改変)

注 : predominant : 優勢な rampant : 流行した overly : 過度に technicist : 専門家的な
knack : 技巧、こつ proceduralism : 手続主義 connotation : 含意 cerebral : 脳の
scenario : シナリオ fast : 断食

問1：下線部（あ）、（い）を和訳しなさい。

問2：波線部で述べられている筆者の考え方と、問題文中で引用されている例を踏まえるとき、筆者は、これまでの教育における competence 観のどこに問題があると考えているのかを述べなさい。

問3：Global competence を育成するために、あなたはどのような教育活動を考えますか。あなたの考える教育活動について、250字以内で論じなさい。

令和3年度 お茶の水女子大学 文教育学部
学校推薦型選抜 帰国子女・外国学校出身者特別選抜
試験問題 人間社会科学科子ども学コース

〈注意事項〉

1 監督者の指示があるまで、解答を開始しないこと。

2 試験問題は、この表紙を含めて合計4ページある。

3 答案用紙は、合計5枚を使用すること。

問題1 2枚

問題2 3枚

4 試験問題および下書き用紙は、持ち帰ること。

問題 1 次の英文を読み、各設問に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

出典) Dewey, J. (1963), *Experience & Education*, Collier Books, USA.

問（1）全文を訳しなさい。

問（2）下線部のことを示す事象について、例を一つ挙げて、その問題点と可能性について論じなさい。(400字以内)

問題2 別紙を読んで、以下の問い合わせに答えなさい。

問(1)筆者が大切に思っていることは何だと思いますか。400字程度で答えなさい。

問(2) 文中の傍線部分「前向きな気分」の「前向きな」の部分を別の言葉で言い換えてみましょう。またその理由について200字程度で述べなさい。

問(3) この文章を読んであなたが考えたことを400字程度で述べなさい。

出典) ピーター・グレイ,(2018),遊びが学びに欠かせないわけ,(吉田新一郎訳),
筑地書館

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

令和3年度 お茶の水女子大学 文教育学部
学校推薦型選抜 帰国子女・外国学校出身者特別選抜 高大連携特別選抜 試験問題
芸術・表現行動学科(舞踊教育学専修プログラム)

I. 時や場所にそれほど影響されない絵画や文芸作品と異なり、劇場で上演される舞踊芸術作品は、時間と場所の制約がある点で、観客にとっては作品享受の機会が限られます。この点を踏まえてもなお舞踊作品を劇場で上演し、鑑賞することの良さは、どういう点にあるでしょうか。上演者の立場と観客の立場からそれぞれ考えて説明しなさい。(50点)

II. 次の英文の内容を読み、設間に答えなさい。

- 1) 下線部を日本語に訳しなさい (20点)
- 2) ハカという舞踊の身体動作の特徴について、本文の内容に即して述べなさい。(30点)

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

注) distortion 歪み protruding 突き出た renowned 有名な
Maori ニュージーランドの先住民マオリ族 prowess 豪勇 prestige 威信

Shennan, Jennifer, "Maori Dance Terminology", *Dance Studies* vol. 15, ed. Lange, Roderyk, Center for Dance Studies, 1991. (一部改変)

令和3年度 お茶の水女子大学 文教育学部
学校推薦型選抜 帰国子女・外国学校出身者特別選抜 高大連携特別選抜 試験問題
芸術・表現行動学科(音楽表現専修プログラム)

問題 次の文章は、21世紀のテクノロジーと音楽について述べたものです。文章を読んで、下記の問い合わせに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

注) wax cylinder 蠟管(ろうかん)。初期の蓄音機の録音・再生に用いた、蠟を塗った円筒のこと。

(Burkholder, J. P.; Grout, D. J.; Palisca, C. V., 2019, A History of Western Music. 10th Edition. New York; London: W.W. Norton & Company. より一部改変)

問1 下線部(1)で述べられる「音楽の聴き方」はどのようなものか。日本語で具体的に説明してください。

問2 下線部(2)を日本語に訳してください。

問3 本文で述べられる音楽とは対照的なものとして、「生の音楽を集まってする(聴く)」という行為がありますが、
今日のコロナ禍でさまざまに影響を受けています。これからの時代、「音楽をする」ことに何が求められるか、
あなたの考えを自由に論述してください。(400字以上、500字以内)